

親鸞さまの

【本文】

しんじつほうど しょういん
眞実報土の正 因を

にそん
二尊のみことにたまはりて

しょうじょうじゆ
正 定 聚に住すれば

めつど
すなはち滅度をさとるなり

【意識】

極楽浄土へ往生させていたただくのは、正しい道筋があります。

往生には、お釈迦様と阿弥陀様が仰ることを聞き信ずることによって、

必ずや往生が定まった人々の一人となることができます。

往生すれば、二尊のお陰で時間をおかずたちまちのうちに成仏させていただきます。

【私の味わい】

お釈迦様は、お経で教えを説かれています。それは、阿弥陀如来様についての内容です。お釈迦様は私たちに聞くべき方向性(教え)を伝えられ、阿弥陀様は実際に私たちを救う。お二方の存在があつてこそ、私たちは救われるのです。

最近、さようならの語源を聞きました。さようならは、左様なら「からきているそうです。つまり、そのようなことであるならば、という相手の意向、世の道理を受けて、これを素直に受け止めていく意味合いなのだそうです。お釈迦様が仰るように諸行無常という道理ならば、人間は死んでいかなければならない、別れていかなければならないのですね、と受け止めていく。悲しみの中にある、左様なら」です。

一方、希望が込められた「左様なら」、もあります。

阿弥陀如来様は、必ずあなたを極楽へと連れゆこう、我が名を称(とな)えよ、我にまかせよと仰います。そして、成仏させ、必ず先立った人々と再び出会わせようと。

この阿弥陀様のお心を聞かせて頂くならば、そのような仏様の道理があるならば、これを素直に聞かせて頂く。その聞かせて頂く中に、左様なら、阿弥陀様がそう仰るのならばという受け止めが芽生えます。

人間は命が終わる。身近な人とは別れる。

しかし、私たちは再び極楽で会える。

左様なら」と聞かせて頂くからこそ。